

事業報告

報告者：亀山 亜希夫（総会）、長澤 恵梨子（研修会1・2）

日時：2019年4月6日（土）14：30～19：30

場所：総会及び研修会1 川崎市産業振興会館 第4会議室

研修会2 九州自慢 川崎東口タワー・リバーグ 2F

内容：総会平成30年度事業報告及び会計報告、会計監査報告

2019年度事業計画（案）及び予算（案）審議

研修会1 「褥瘡の栄養管理とスキンケア予防」について

講師 ニュートリー株式会社 営業本部 係長 管理栄養士 関 裕子 先生

研修会2 「郷土料理の食材や調理方法のこだわり、接客のおもてなし方」について

情報交換・その他

4月6日（土）に川崎市病院栄養管理部会 第1回研修会が開催されました。研修会1ではニュートリー株式会社 関裕子先生による「褥瘡の栄養管理とスキンケア予防」についての講演がありました。

平成30年度診療報酬改定において「褥瘡の危険因子」の評価項目に「スキンケア」、「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」の対象に「医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）」が加わりました。

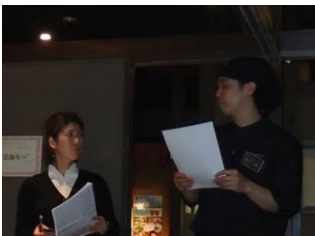
一般病院における褥瘡対策危険因子では「栄養状態低下」が2番目に多く挙げられており、また、在宅高齢者においては「低栄養」が最も褥瘡発生のリスクが高いとの研究があります。積極的な栄養介入を行うことで低栄養を改善し、褥瘡発生予防や改善効果が期待できます。

栄養管理を行う上では褥瘡治癒過程に見合った、適切な栄養素を補給していくことが必要です。今回の研修会では、特にコラーゲンペプチド



について紹介をしていただきました。コラーゲンは分子量が多く難溶性であるのに対し、コラーゲンペプチドは分子量が少なく冷水にも溶けやすい性質があります。10g/日のコラーゲンペプチドを摂取することで皮膚への作用効果を得られ、特に肉芽形成期の褥瘡患者にはコラーゲンペプチドや亜鉛・鉄等の微量元素を積極的に摂取することが勧められるそうです。

次にスキンケアの予防ケアについての講演がありました。スキンケアとは「摩擦・ずれによって、皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷」をいいます。スキンケア周囲皮膚の所見では乾燥が最も多く挙げられます。コラーゲンペプチド含有飲料により高齢者ドライスキンが改善された報告があり、様々な皮膚疾患に効果があることが分かりました。



研修会2では「郷土料理の食材や調理方法のこだわり、接客のおもてなし方」について、福祉施設での勤務経験もある副店長の荒井様よりアレルギーへの対応、盛り付けや味付けが同一となるような工夫、出汁やソースの工夫など実際のフードサービスにおける工夫を学ぶことができました。